

熊沢 正幸

平沼 赳夫

秋山 狂生

木下 義昭

三本菅 啓二

福原 眞子

新居 美恵子

桑木 崇秀

鈴木 宗男

堀 浩平

井川 忠昭

栗田 正江

高花 豊

松尾 和哉

井上 時男

坂口 恵美子

池田 恵子

澤 龍

市川 幸

澤村 敏明

板垣 正

高池 勝彦

稲垣 直

谷野 邑仁

魚谷 哲央

徳富 太三郎

宇都宮 鐵彦

富田 定幸

遠藤 留治

豊源 太

國の礎とられた英霊に

感謝と追悼の

高森 義夫

南出 喜久治

岡本 和子

内賀嶋 初子

津村 忠臣

森 洋

小瀬古 峰子

中 和歌美

西牟田 孝治

山口 申

小野 貴嗣

中尾 翔兵

樋口 元剛

吉田 直紀

大木 啓介

中根 眞太郎

梶栗 玄太郎

永井 康雄

緒方 基一

永田 俊恵

柏谷 嘉弘

西川 まさみ

鎌田 紀彦

西谷 泰人

亀井 紀代子

根岸 貴二

川村 光夫

橋本 妙子



誠を捧げます

# 平成24年頒春

田母神俊雄

中田雅子

中野栄一郎

中條高德

口  
木  
作  
良

永山英樹

西  
寸  
參  
云

沼山光洋

野田定則

異田正治

深澤成壽

吉村	吉田	吉川	湯澤	山本	森田	百地	目原	鳴田	村田	宮崎
	伊哲	洋		徳	忠		芳		春	正
理平	雄	一	貞	造	明	章	雄	霞	樹	弘



の占 ように見えてならない。い、国家を解体しようとし

また、民主党の菅直人 元首相や東幹事長が 政治の師と仰ぐ法政大学 松下山一名教授は「中 央集権国家」官僚主権「 市民主義」善とし、「新 しい公共」の「地域分節 化」「分権」主義を唱え、 男女共同参画法などによ

戦と戦後経済、二番底 日本

政治学者 藤井 厳喜

米大 速やかに覚醒し、完全な 用不動産価格の急落が予 対中シフトを取る事とな 想され、しかも銀行の自 己資本強化の為に、金回

をい 経済面を見ると、今年 アジは世界経済が二番底に落 ち込む有難くない年であ

工・沖ノ鳥島を守る元年の年に

濱口 和久

の ない。ところが、中国は 平成十六年四月の日中外 交事務レベル協議の場

の かつ、もし仮に、沖ノ鳥島海 域が日本の排他的経済水 域から外れると、周辺海

このままでは北方領 土、竹島に続いて、沖ノ 島も同じ運命を辿るこ

今年は暗い、大波乱の辰年

評論家 宮崎 正弘

ことしは大波乱の辰年 になる。 オバマ政権下、イラク からの撤兵はスケジュ

米国は通常の国防費に 上乗せで追加戦費は八年 間に一兆ドル。アメリカ

「人権侵害法」の上程阻止を

日本大学教授 百地 章

民主党政権が目論む 産経新聞が大きく取り上 げて批判したり、反対の

にも拘わらず、旧臘十 五日に「人権委員会設置 法」という名の法案概要

富国強兵元年を目指して

防衛システム研究所代表・元陸将 松島 悠佐

年頭の辞といえは「良 年でありますように」 といのが定番ですが、

国民歌壇

神々の 山口富永 神々の修理固成し秋津洲重なる試 練耐へてゆきなむ

現状回復論

弁護士 南出 喜久治

よはいかにひらけゆく とともにしへのくのに 憲法問題や典範問題にお

「お言葉」に国民が勇氣、希望を得る

参議院議員・自民党 山谷 えり子

昨年 未だ復興への道のりは遠 い状態ですが、国会議員 セージを賜りました。何



# 現状回復論

弁護士 南出 喜久治

よはいかにひらけゆくともいにしへのくにのおきてはたがへざらなむ（明治天皇御製）

原状回復は救国の王道である。これは、望ましくない状態に陥つたとき、もとの正常な状態に戻すことを義務づける法理である。人が拉致され

論が唱へられてゐるが、憲法問題や典範問題においては、原状回復を求める声に対して強い妨害と抵抗が見られる。どうしてさうなのか。その原因は数多くある。しかし、今それをいくら分析し批判するだけでは全く好転しない。

たり、財産が奪はれたときは、もとの状態に戻して被害を回復し損害を補填させることは当然のことであつて、これは、国内のみならず、昭和三年のホルジョウ工場事件判決などの国際判例を通じて確立された世界共通の法理である。ところが、我が国では、この規範が一部でしか適用されてゐない。拉致問題や領土問題では辛うじて原状回復

ご皇室は、国民主権を謳ふ占領憲法によつて国民より下位の地位に落ち込まれ、占領典範によつて監視され続けてゐる。江戸期の「禁中竝公家諸法度」や「禁裏御所御定八箇條」に勝るとも劣らない皇室弾圧法である。それゆゑ、速やかに占領典範の無効を確認して、ご皇室の家法である正統な皇室典範を復元し、ご皇室の自治と自律

を完全に回復していただくことが我々臣民に課せられた焦眉の急務である。

これは、占領憲法についてと同様である。そこで、昨年十一月には占領憲法の無効宣言と占領典範の無効宣言を求める請願を行ひ、参議院でいづれも正式に受理された。

戦後初めての快挙である。今年は衆議院に請願する。そして、全国の地方議会においても、昭和四十四年に岡山県の奈義町議会でなされた「大日本帝国憲法復原決議」に続いて、占領典範と占領憲法の無効宣言を行ひ、我が国の正気を回復する第一歩とせねばならない。